

とんぼの未来・北の里づくり対策の概要

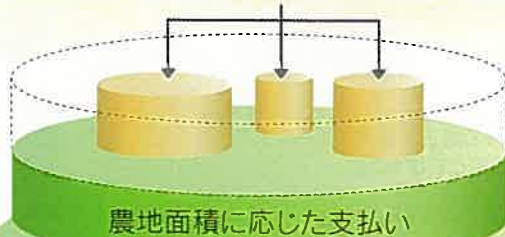


「とんぼの未来・北の里づくり」対策は、
農地・水・環境保全向上対策の北海道における愛称です。

- いま、北海道の農村集落では高齢化や過疎化が進行し、本道農業の基盤となる農地や農業用水などを守る「地域のちから」が弱まっています。そのため、国民が求める安全・安心で良質な食料の安定供給と緑豊かな農村環境づくりを行う、地域ぐるみの共同活動と環境に配慮した先進的な営農に対し、国、北海道、市町村が連携して応援します。
- 実施期間は平成19年度から23年度までの5年間です。
- 支援には、共同活動への支援と営農活動への支援があります。

営農活動への支援

地域の環境保全に向けた先進的な営農活動を支援
取組み面積に応じた支払い+集落等を単位とする支援



共同活動への支援

農地・水等を守り、質を高める効果の高い共同活動を支援

ホームページ

<http://www.do-nouchimizu.com/>

対策の相談先

とんぼの未来・北の里づくり対策協議会事務局
北海道土地改良事業団体連合会内
TEL.011-221-2292 FAX.011-200-5352

北海道農政部農村設計課
TEL.011-231-4111 内線 27856.27862 FAX.011-232-0027

素敵な北海道を作りましょう 農業や農村の いろいろな役割を生かす

目次

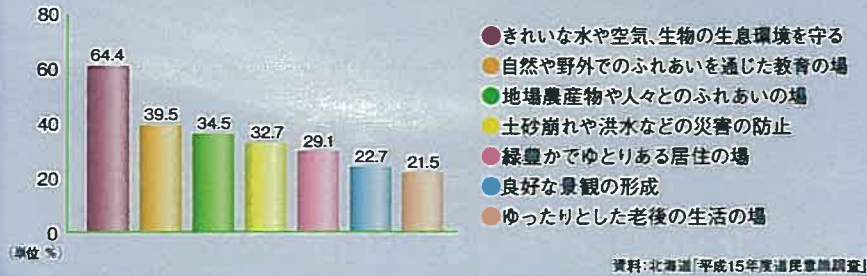
図録	1
洪水被害を防止しよう	3
融雪被害から農地・水路を守る	5
美しい農村景観を創ろう	7
水質保全に取り組もう	9
生活環境保全に取り組もう	11
生態系保全に取り組もう	13

写真：日本流水百選 聖台用水路(旭川市)

監修 とんぼの未来・北の里づくり対策協議会(愛称)
(北海道農地・水・環境保全向上対策協議会)
協力 北海道農政部農村計画課・農村設計課



あなたは農村に何を期待しますか？

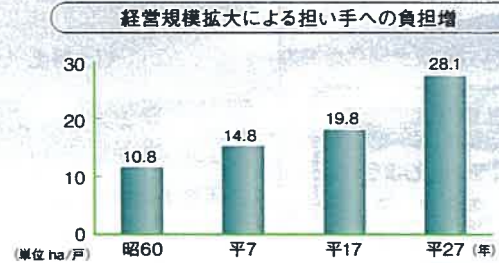
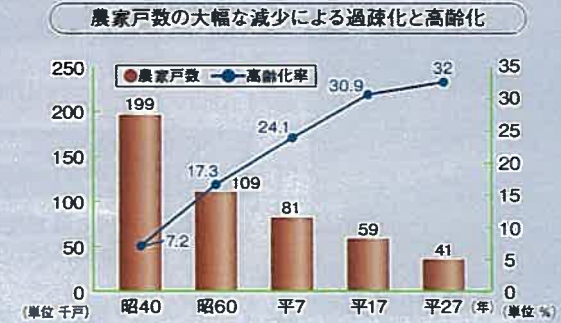


農業・農村は私たちが生きていくのに必要な、お米や野菜などの生産の役割を果たしているだけでなく、田んぼや畑、農村のまわりの自然は、私たちにとって大切な役割もっています。

農村のもつ働きをお金にしてみると…



農家の皆さんだけで保全するのは大変ですか？



農業・農村がもっている大切な働きは、これまで農家の皆さんが保全してきました。でも今、農家の皆さんは大変な時代です。農家の皆さんだけでは保全しきれない状況になり、耕作を放棄しなければならない農地も年々増えています。

農業・農村の大切な働きを守るためには、ひとりでも多くの方が活動に加わることが大切です。身近なところから、素敵な農村づくりに参加してみませんか？

とんぼの未来・北の里づくり対策を活かして。 洪水被害を防止しよう



●地域の課題

大雨の際には上流からの出水で住宅や施設が湛水し被害を生じている。

活動のテーマ

地域ぐるみで洪水被害を防止しよう

「田んぼダム」 に取り組もう



●活動のイメージ

水田のもつ貯水能力を活かし、いざというときに地域全体で活動することにより、洪水被害を防ぐことができます。

活動の目標

1. 畦を強くしよう

除草剤を使うと畦が弱くなります。

2. 用排水路を整備し 操作しやすいようにしよう

用排水路の通水能力を日頃から確保しておくことで、大雨時の通水にも迅速に対応できます。

3. 水系単位で取組もう

効果の高い活動となるよう、流域の広がりを考えて取組みましょう。

4. いざというときの連絡体制の 整備や訓練をしよう

大雨時の各自の役割り、対応方法と連絡体制を日頃から定めておきましょう。

活動の実践

田んぼの畦の草刈り

畦の作り直し

きめ細かい雑草対策
(グラウンドカバープランツの植栽)

田んぼの法面の早めの補修

用排水路の草刈り・土砂上げ

ゲート類の保守管理の徹底

暗渠排水管の清掃

破損した施設の改修

水路法面の早めの補修

貯水機能を増進する地域計画づくり

地域内のルール等の取り決め

異常気象後の見回り・応急措置

広報活動

排水機能を向上させるための
施設操作(ポンプ試運転等)

営農上の効果

・病害虫の発生低減
・除草剤の低減

・深水かんがい

・草刈り労力の低減
・ブランド米づくり

・漏水の防止

・病害虫の発生低減

・干害の防止

・湿害の防止

・操作性の維持

・機械作業の効率化



●畦の作り直し



●水路の土砂上げ



●ゲートの保守管理



●計画づくり



●見回り

とんぼの未来・北の里づくり対策を活かして。

融雪被害から農地・水路を守ろう



●地域の課題

- ・融雪の際には上流からの出水で浸水被害が発生
- ・融雪の際には地域内の浸水被害が頻発

活動のテーマ

地域ぐるみで浸水被害を防止しよう

**融雪期の
浸水被害防止
に取り組もう**



●活動のイメージ

用水路や排水路に積もった雪からの融雪に備えることによって、春先の思わぬ浸水被害を防ぐことができます。

活動の目標

1. 排水路を整備し 流下しやすいようにしましょう

融雪水を排出する排水路の能力が最大限発揮できるよう、日頃から備えておきましょう。

2. ほ場を整備し、 排水をしやすくしよう

秋のうちに、水が浸透しやすいよう整備しておきましょう。

3. 融雪水の排出をスムーズにしよう

下流から順に排水されるよう、雪割りや融雪材の散布を行いましょ。

4. 融雪に対する対応方法を 取り決めよう

あらかじめ地域全体で融雪期の対応方針を定めておくことで、一体的な対策を図ることができます。

活動の実践

排水路の土砂上げ

ゲート類の保守管理の徹底

暗渠排水管の清掃

破損した施設の改修

水路法面の^{のりめん}早めの補修

暗渠排水管の点検

融雪を排水するための溝切り

積雪被害防止のための活動
(水路の雪割りや排雪)

融雪材の散布

貯水機能を増進する地域計画づくり

地域内のルール等の取り決め

施設の機能を診断
(積雪状況の把握)

広報活動

営農上の効果

・湿害の防止

・操作性の維持

・機械作業の効率化

・湿害の防止

・生育期間の確保

・早期の播種、移植
・地温の上昇



●水路の泥上げ



●ゲートの保守管理



●水路の雪割り



●融雪材の散布



●計画づくり

とんぼの未来・北の里づくり対策を活かして。 美しい農村景観を創ろう



●地域の課題
・身近な環境をきれいにしたい。
・心地よい景観をいつまでも大切にしたいが…。

活動のテーマ

地域ぐるみで美しい農村景観を創出しよう

彩りと交流の 農村づくり に取り組もう



●活動のイメージ
農村のもつ豊かで美しい景観を保全することによって、住民や訪れる人々に安らぎを与えます。

活動の目標

1. 地域全体の計画をたてよう

農村景観は地域の身だしなみ。
身近なところから取組んでみましょう。

2. 景観作物で計画的に 農地を彩ろう

景観作物を地域全体で取組むことにより、
一体的な農村景観を形成することが
期待されます。

3. 農村の施設を花と緑で飾ろう

花壇づくりや草刈りや清掃活動に
取組むことにより、一体感のある
農村景観を形成することが期待されます。

4. 防風林の造形美を保全しよう

個々の防風林を地域全体で再生することで、
個性豊かな農村景観を創出することが
期待されます。

5. 皆で気軽に楽しめる活動に 育てよう

学校教育との連携や、地域住民や
都市住民との交流を図り、
「農村の応援団」になってもらいましょう。

活動の実践

景観計画づくり

農用地を活用した景観形成

のりめん
法面のきめ細かい雑草対策
(草刈り・グラウンドカバープランツの植栽)

施設への植栽 (フラワーロード等)

施設のきめ細かい雑草対策
(草刈り・グラウンドカバープランツの植栽)

施設等の巡回点検・清掃 (ゴミ拾い等)

防風林の枝払い、下草刈り

景観形成のための植栽

地域住民と交流活動

学校教育との連携

伝統的施設や農法の保全実施

広報活動、啓発活動

営農上の効果

・地力の向上
・連作障害の防止

・病害虫の発生低減
・草刈り労力の低減

・病害虫の発生低減
・草刈り労力の低減

・機械作業の支障と
なる枝の除去
・風害の軽減

・農業と農村への理解

・食農教育

・農産物のブランド化



●景観形成に役立つ緑肥



●花壇づくり



●施設周辺の草刈り



●防風林の植樹



●伝統的はさ掛け

とんぼの未来・北の里づくり対策を活かして。 水質保全に取り組もう



●地域の課題

清流は命の源。川も森も海も、清らかな環境を子供たちに残したい。

活動のテーマ

地域ぐるみで河川環境の保全に取り組もう
[きれいな水づくり]
に取り組もう



●活動のイメージ

地域の水質や生態系を確認し、必要な活動を行うことで、下流域の水質を守ることができます。

活動の目標

1. 農地からの濁水等の流出を防止しよう

濁水等が河川や湖沼に流出する原因を地域全体で点検し、広域的に連携して取り組むことで、高い効果が期待できます。

2. 流出した濁水等を浄化しよう

発生している水質の汚濁を改善するために、浄化施設を広域的に設置しましょう。

3. 川や地下水の水質について点検しよう

地域の取組みのあり方を考えたり、取組みの成果を継続的に確認するために水質調査を行いましょう。

4. 皆で気軽に楽しめる活動に育てよう

取組みを農家だけでなく、地域住民や学校教育と連携することで、農村の取組みについての理解を深めてもらい、「農村環境の応援団」として、活動への継続的な参加を呼びかけましょう。

活動の実践

水田からの排水(濁水)管理

刈取った草の適切な処理

土壌診断等による有機質資材の投入

排水路沿いの林地帯を適正に管理

土砂流出防止のためのグリーンベルト等を適正に管理

沈砂池を適正に管理

地域内の規制等の取り決め(耕起や堆肥投入、放牧等)

水質保全を考慮した施設の設置と適正な管理

水質モニタリング

地域内の規制等の取り決め

水質保全計画づくり

地域住民との交流活動
ビオトープづくり

学校教育等との連携
(田んぼの生き物調査等)

広報活動、啓発活動

営農上の効果

・病害虫の発生低減

・地力の向上

・表土流出の防止

・適正な施肥

・農業と農村への理解

・食農教育



●河畔林づくり



●ビオトープづくり



●水質の点検



●河川沿いを清掃



●学校教育との連携

とんぼの未来・北の里づくり対策を活かして。 生活環境保全に取り組もう



●地域の課題

畑の表土が風で飛び、苗が抜ける、土ぼこりがひどい、排水路に土砂がたまるなどの風塵被害が発生している。

活動のテーマ

地域ぐるみで風塵被害を防止しよう

ほ場からの
ふうじん
風塵の抑制
に取り組もう



●活動のイメージ

防風林等の施設を効果的に整備することで、土ぼこりや吹雪から地域を守ることができます。

活動の目標

1. 表土を改善しよう

土壌の物理性を改善するなどして飛散しない表土にしましょう。

2. 裸地を最低限にしよう

休耕するほ場に被覆作物を作付けることにより、表土の飛散を防止しましょう。

3. 防風林等を再生しよう

耕地防風林などを設置し適正管理することにより、防風機能を高めましょう。

4. 防風林を活用しよう

防風林を地域全体で保全への理解を深めるため、生態系や農村景観機能の保全の取組みと併せて活用を考えましょう。

活動の実践

ほ場からの土ぼこりの飛散防止
(有機質資材の投入)

畑地かんがい施設の点検・配水操作

ほ場を活用した景観に配慮した作付け

ほ場からの土ぼこりの飛散防止
(休閒緑肥や輪作の適正化)

防風林の枝払い、下草刈り

防風林の植樹・更新

防風ネットの適正な管理

生活環境保全計画づくり

地域住民との交流活動

学校教育との連携

広報活動・啓発活動

営農上の効果

・地力の向上
・表土の保全

・操作性の確保

・地力の向上

・連作障害の防止

・機械作業の
支障となる枝の除去

・風害の軽減

・移植苗の保護

・農業と農村への理解

・食農教育



●裸地化防止



●下草刈り



●防風林の植栽



●防風ネットの管理



●地域住民の交流



●防風林の活用

とんぼの未来・北の里づくり対策を活かして。 生態系保全に取り組もう



●地域の課題
減農薬や有機栽培に取り組んだり、自然環境を子供たちに残したいが、地域全体で取り組むのは難しい。

活動のテーマ

地域ぐるみで「実のある」生態系保全に取り組んでみよう
生き物にも、人にもやさしい
「あんしんブランド」
に取り組もう



●活動のイメージ
地域の生態系を確認し、保全することで、環境と調和の取れた農村を目指しましょう。

活動の目標

- 1. 安全・安心な作物をつくろう**
消費者のニーズにあった生産を行い、さらに減農薬・減化学肥料栽培にも地域ぐるみで取り組んでみましょう。
- 2. 地域の生態系を学ぼう**
カメムシやアブラムシは何故増えるのか？昔いた生き物は何故いまいないのか？子供たちと一緒にみんなで学びましょう。
- 3. 生き物の生息環境を守ろう**
豊かな生態系を保全するため、生き物の生息の場を保全しましょう。
- 4. 貴重な動植物を守ろう**
地域で少なくなった生き物について、保全に取り組んでみましょう。
- 5. 皆で気軽に楽しめて、実のある活動に育てよう**
地域の取組みをPRして、生き物を大切にしている皆さんが生産する農産物のファンになってもらいましょう。

活動の実践

- 地域内の規制等の取り決め（農薬散布や、水入れ、中干し時期など）
- きめ細かな雑草対策（草刈り、グラウンドカバープランツの植栽）
- 生き物の生息状況の把握（生き物調査と生き物マップづくり）
- 学校教育との連携（生き物調査や農業体験など）
- 放流・植栽を通じた在来生物の育成（エサとなる動植物の育成なども含む）
- 生き物の生活史を考慮した適正な管理（早期湛水、中干し時期の延期など）
- 生態系保全に配慮した施設の適正な管理（ビオトープ、水田魚道の設置と管理など）
- 施設等の定期的な巡回点検・清掃（ゴミ拾い、水質点検など）
- 水田を活用した生息環境の提供（地下水かん養、冬水田んぼなど）
- 希少種の監視
- 外来種の駆除
- 広報活動・啓発活動（生き物に優しい地域を広くPR）
- 地域住民との交流活動（施設づくりや観察会などを通じて）

営農上の効果

- 環境規範の遵守
- 農産物のブランド化
- 地力の向上
- 農業と農村への理解
- 食農教育
- 農産物のブランド化
- 水田雑草の抑制
- 農産物のブランド化

